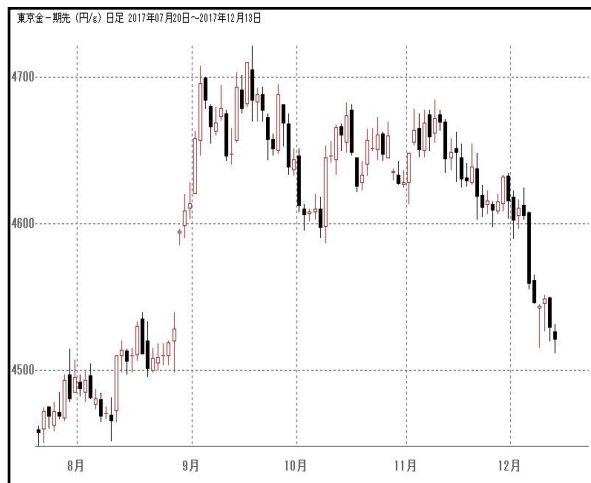


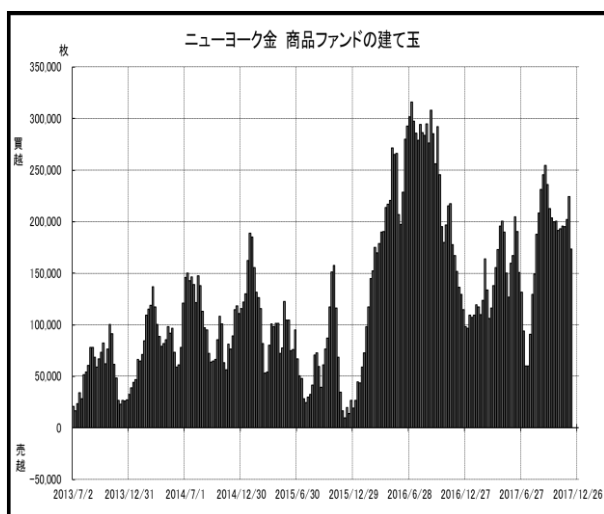
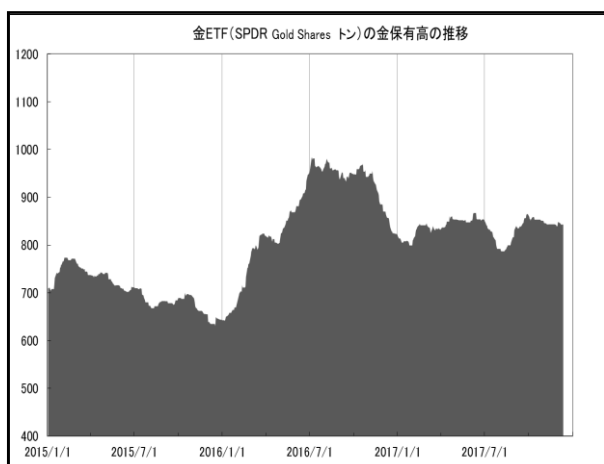
# OkatoMonthlyReport①

岡藤商事株式会社

東京金— 方向性は下向き、4,600 円割れで地合いが悪化 予想レンジ 4,450~4,650 円



NY 金は、1,265~1,290 ドルのボックス相場から 1,260 ドルを下方ブレイクしダウトレンドを形成。米国の利上げを前提としたドル買い圧力や米株式市場の堅調地合いを受け、逃避買い需要の減退が下方圧力を強めている。現在のところ、米トランプ政権に対する先行き不透明感や中東情勢の地政学リスク、朝鮮半島問題等、金にとっての支援要因となり得る材料は、市場で楽観的な見方が広がり、ほとんど材料視されていない。13 日には FOMC の結果が公表され、0.25%の追加利上げが決定、来年の利上げ見通しも3回と9月の内容から変更はなかったが、ほぼ市場予想通りであったことから買い戻す動きが広がり 1,250 ドル台を回復した。ただ、米国を初め主要国の金融政策の引き締めへの転換は、先行きの圧迫要因。年内は、重要イベントを終えクリスマス休暇や年末へ向けポジション調整主体の売買となり、動きにくい展開が予想される。目先は、1,260 ドルを戻り抵抗に 1,230~1,250 ドル近辺での推移か。相場反転には持続性のある支援要因が必要になるが、現状では見当たらない。注意点としては、連日高値を更新している米株式市場の上昇に米経済の実態が追い付かず急落となった場合には逃避買い需要が発生する可能性は高い。国内市場は 4,600 円割れで基本スタンスは戻り売りへと転換。



## ETF (SPDR Gold Shares) 12/12 現在

ETF (SPDR Gold Shares) は 843.39 トン。10 月末 864.65 トンから 21.26 トンの減少。

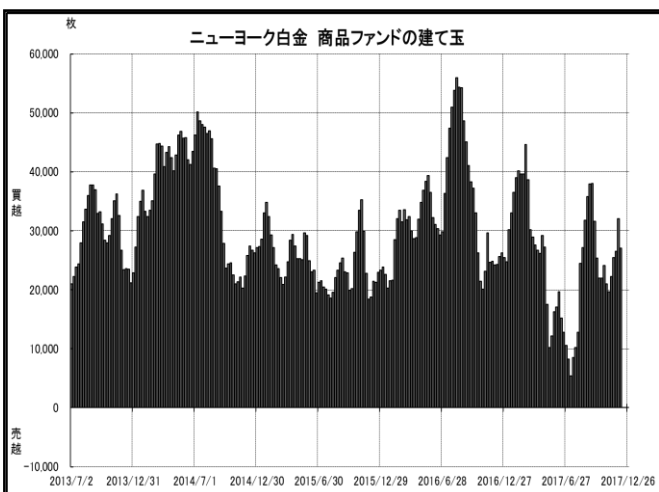
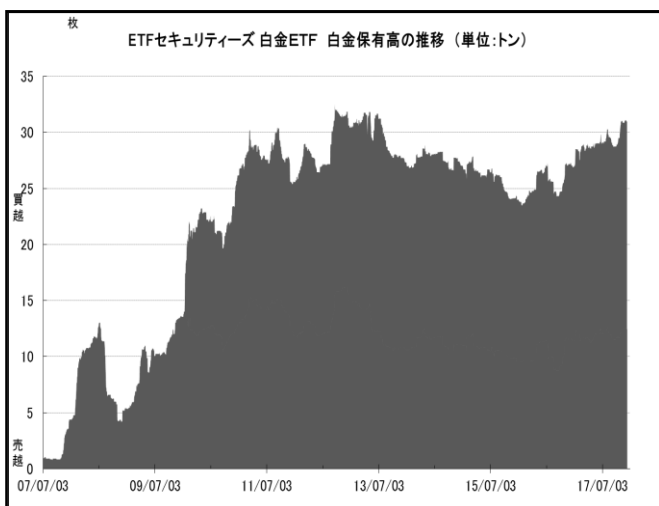
## CFTC 取組明細

12 月 7 日現在の大口投機家の買い越し残高は 173,329 枚。10 月 31 日の 193,095 枚の買い越しから 19,766 枚の減少。

# OkatoMonthlyReport②

岡藤商事株式会社

## 東京白金— 市場心理が悪化、下値 を探る展開 予想レンジ 3,000~3,300 円



NY 白金は、11 月後半に戻り高値を更新し 960 ドル手前まで上昇したが、その後はドル高進行を受け急落。強固なサポートになっていた 910 ドルを割り込んだことで市場心理が悪化、870 ドル台まで下げ幅を拡大した。需給面では引き続き自動車用触媒需要の減退が圧迫要因。各国政府主導での環境規制の強化が想定を上回る速度で進み、内燃機関車（特にディーゼル車）から EV へのシフトは加速傾向にある。テクニカル的には、900 ドル割れから一代安値を更新、2016 年 1 月の安値 805 ドルを視野に入れた展開へ。相場反転には、供給サイドで問題が発生しない限り現状では難しい。一方、NY パラジウムは堅調地合いを維持。ディーゼル車の製造・販売が落ち込むなか、EV までの繋ぎとしてガソリン車の製造・販売は増加傾向にあり、既に現物市場ではメーカーの手当てより品薄感が広がっている模様。国内市場は、3,350 円割れで投げを誘発し 3,100 円台後半まで下落。目先は下値模索が継続、3,000 円割り込む場面も想定しておく必要がある。基本的スタンスは 3,250~3,300 円を上値抵抗とした戻り売りスタンス。

### ETF(ETF セキュリティーズ) 12/11 日時点

ETF (ETF セキュリティーズ) は 30.97 トン。10 月末の 30.66 トンから 0.31 トンの微増。

### CFTC 取組明細

12 月 5 日現在の大口投機家の買い越し残高は 27,0283 枚。10 月 31 日の 19,612 枚の買い越しから 7,416 枚買い越し幅拡大となった。

## 岡藤商事株式会社

農林水産省・経済産業省許可商品先物取引業者  
(農林水産省指令28食産第3988号・経済産業省20161108商第10号)  
日本商品先物取引協会会員

### ■ 取引証拠金について

商品先物取引は委託に際して取引証拠金の預託が必要になります。最初に預託する証拠金の額は商品により異なりますが、最低取引単位(1枚)当り最高100,000円です。ただし、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になる場合がございますので、ご注意ください。また、その額は商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。

#### ◇ 取引証拠金額一覧

<http://www.okato.co.jp/okato/expert/pdf/honsyo.pdf>

### ■ 手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。インターネット商品先物取引「Expert」のシステムを利用した場合、ミニ取引及び限日取引を除く全ての銘柄については通常取引の場合、1枚当り往復720円(税込)、日計り取引の場合、1枚当り往復360円(税込)、ミニ取引及び限日取引については通常取引の場合、1枚当り往復180円(税込)、日計り取引1枚当り往復90円(税込)の委託手数料がかかります。また、電話による代行注文をお受けした場合、1枚当り片道3,240円(税込)の委託手数料がかかります。

### ■ 商品先物取引のレバレッジについて

商品先物取引は証拠金取引であり、総取引金額(約定値段に取引単位の倍率と取引数量を乗じて得た額)は、最初に預託する証拠金に比べて著しく大きな額となります。その額は商品によって異なりますが、最大で取引証拠金の約70倍程度となります。

### ■ 商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は相場の変動によって損失が発生する場合があります。また、その損失額は預託した取引証拠金の額を上回ることがあります。

## お取引に関する相談

岡藤商事株式会社 コールセンター管理課(平日8:30~18:00)

東京都中央区新川2-12-16 TEL 03-3552-0440

日本商品先物取引協会 相談センター受付窓口(平日9:00~17:00)

東京都中央区日本橋堀留町1-10-7 TEL 03-3664-6243

ホームページ <http://www.nisshokyo.or.jp/>

※当社企業情報に関するディスクロージャー資料は、当社の本・支店、日商協のHPで閲覧できます。